



岩槻幼稚園・2025年度7月号

<2025年度7月の聖句>

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5：16～18節

～ 心にとめて ～

7月になりました。お外にいと溶けてしまいそうな、真っ赤っかな毎日です。夏バテぎみのわたしですが、おともだちのみんなが元気を分けてくれるので、おしごとを続けることができます。実は、みんなはただあそんでいるわけではありません。汗いっぱい、笑顔いっぱいで嬉しそうにお過ごししているそのすがたが、せんせいたちを励ましてくれているのです！

せんせいはおともだちを見守って、みんなはせんせいに元気を分けっこする。そうやって、おとなもこどもも協力し合いながら楽しい幼稚園をつくっています。なかでもみんなは知らず知らずのうちに、園長のお世話をしてくれているのです。知ってましたか？

早いもので、4月に赴任してあつという間に3ヶ月たちました。人見知りのわたしは、どうすれば岩槻幼稚園のみんなとなかよくなれるかなあと考えていました。ですが、気がつくといつの間にか、みんなとなかよしになっていました。

それは、わたしがなかよくする前に、みんながおともだちの輪に入れてくれたからです。「いっしょにあそぼうよ！」と声をかけてくれたり。いっしょにごはんを食べながら好きなたべものを教えてくれたり。ぼんやりしている園長を見つけると、お迎えに来て、手をつないでくれたり…。そんなふうに、おとなよりもずっと「受け入れる力」のあるみんなは本当にすごいなと思います。

なかまはずれをつくらないで、「家族」のように受け入れることのできる、あたたかいおところがみんなにはあります。みんなのおかげで、わたしも岩槻幼稚園がじぶんの居場所になりました(^-^)

毎日元気にがんばって、園長のことも助けているみんなはとってもえらいのです。すばらしいおともだちを岩槻幼稚園に送り出してくださっているおうちの方々に、ここから感謝申し上げます。一学期ももうすぐおわりますが、暑い夏を乗り越えたあとも、引きつづきよろしく願いいたします♪

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長

清水 義尋

<今月のねがい> — はずんで / 思いっきり —

- ・ 賛美やお祈りすることを喜び礼拝を心地よく感じる
- ・ 好きな遊びを 夢中になって繰り返す中、保育者や友だちとのやりとりが楽しくなり
もっとやってみたいと気持ちがはずむ
- ・ 暑い中でも木陰の涼しさを感じ水遊びなどで心も体も開放する
- ・ 遊びや関わりの中で、表現する事・探求する事・交わることを思いっきり楽しむ
- ・ 思い通りにいかないことや、友だちとのぶつかりの中で自分の気持ちを伝え、立ち止まってがまんしたり、仲直りをする経験を重ねる

